

栄ちゃんの

# カラオケ演歌塾

『はぐれ舟』編



荒涼とした大原野に呆然と一人、立ち尽くす初老の男、風吹き荒び、行く宛ても無く、孤独感に苛まれ、目に映る冷え冷えとした情景に

男は心の内に果てしない寂寥感をしみじみと感ずる。

そんなシーンを心のキャンパスに思い描いて、その男の心を熱く歌い出します。

その様な心の準備が無いままに歌い出すと、～今日も誰かが泣いている～が

ただの粗野な歌になります。

この歌は勢いで荒っぽく歌う歌じゃありません。酸いも甘いも噛み分けた分別のある大人の男が今人生の分岐点に立って、自分の生きて来た道を振り返り、社会の枠組みから解き放たれた開放感と不安感、そして孤独感といった心象風景を表現します。

さあそれじゃ具体的に進めてみましょう。

とても大きな歌い出しからたちどころに悲しみの表現に変わります。

おおい！皆！聞いてよ！歌い出しはそんな気持ちで！

哀調を帯びたメジャーワルツのリズムに乗せて歌います。テーマは暗いんですが、あくまでも

声のトーンは明るく前に出して！これがこの歌の声調の基本です。

周りを見渡しても何も見えない果てしない世界、振り返れども茫洋とした漆黒の闇に、

生きて来た時間とその場面に呼びかけます。

又自分の手元にそのシーンを引き寄せるように歌い出します。

～今日も誰かが～この歌いだしは、切れ味の良いはさみでその情景を瞬時に切り裂くようなイメージで。勿論インテンポです。

ワルツはそのリズムを外すととても、聞き辛いものです。

そして2小節目の1拍目がこの歌の音域のトップの音です。

歌い出す前の吸う息の量に充分に気をつけて！

又、～今日も～の「も」から～誰か～の「だ」に行く音程がいきなり1オクターブ上がります。

音程にも気をつけて！

しかし、ここをクリアーに歌いだすと聞いている皆さんが、思わず耳を傾けるはずですよ。

ここがこの歌の中の生命線です。この歌に命を吹き込めるか否かの大きな鍵です。

そんなつもりで歌って下さい。

～誰かが～は生きてきた自分の姿を第三者の眼差しで！自分も含めた世間の広い世界に

呼びかける様に！

～泣いている～は変な言い方ですが悲しみの量です。

多くの人が涙に満ちている。俺だけじゃないよ。みんなの心の内も悲しみに満ち満ちてるんだよ。そんな思いで！大きく歌います。

～泣けば涙の～ここは敢えて感情を移入しないように！声押し出すように！

嗚咽する感じじゃ無く、腹の底からその感情が溢れ出す感じですよ。

～川になる～ここは人々の悲しみもやがて一粒の涙が、涙の束になり、川になり、そして大海に注ぎその思いもいつか昇華されるんだよ。

人の感情と自然の摂理を重ね合わせて淡々と歌います。

～荷物下ろした～ここは歯切れ良く男らしく堂々という感じですよ。～にイもオつり おおろおしいたあーこ

こだけは、放歌高吟風にワイルドに歌い放ちます。

～男の背なに～艱難辛苦を乗り越えた男の自信とその誇りを込めて！肩を揺らすぐらいでも

いいかも知れません。

特に男は～おottoッこお～こんな感じですよ。～吹いて寂しいすきま風～ここで物語は逆風に変わります。しかしそれに立ち向かうような気持ちで！

オーケストラのリズムも激しく強く煽ってきます。その風に逆らうように歌い方も強く

リズムを刻むように言葉をぶつける様に音圧を強めて！そこに遠くに閃光の様な一条の光が

目に入ります。～灯り一粒～。

目を凝らしてもう一度その灯りを確認します。～灯り一粒～。

そこに自分のこれからの生き方と、目標を見つけるのか、それとも目に見えない力に翻弄されるのか深い慈愛に自分が包まれていると捕らえるのか、それはご自分の感情の赴くままに！

その言葉に相応しい気持ちをここで投入します。

～はぐれ舟～ここで又自分の姿が映像的に俯瞰になります。自分の人生を川の流りにたゆたう

笹の葉にも似た小舟に見立て、

その流れに任せて生きるのか、雄雄しく立ち向かうか、男の第二の人生の生き方への問いかけで締めくくります。